



いじめ問題への対応の要諦 ⑤

開発的アプローチ

- ◆ 学校は、いじめの早期発見・早期対応を図ることが重要です。そのため、教師がいじめの兆候を鋭く捉えること、解決に向けた確固たる指導体制を確立することが必要です。

しかし何よりも大切なのは、日頃から子どもが多様性を認め、人権侵害をしない人へと育つ教育を進めることでいじめを未然に防止する、いわゆる開発的アプローチです。



- ◆ まずは、いじめは対人関係における問題であるとの認識に基づき、人権尊重の理念を踏まえた教育活動を推進することが重要です。人権尊重の理念とは、「自分の大切さと共に、他の人の大切さを認めること」です。
- ◆ その上で、「子どもが安心して生活できる学級・学校風土の創出」と「子どもが主体的に行動しようとする意識や態度の育成」を図ることが重要です。
- ◆ 具体的には、日々の授業や特別活動などを通して、次に挙げる指導や取組を充実させましょう。
 - 自己肯定感や自尊感情を高める指導
 - 豊かな情操を培い、人権意識や規範意識を身に付けさせる指導
 - よりよい社会を築こうとする意識や態度を育む指導
 - 子ども同士が話し合い、合意形成や自己決定ができるようにする取組
 - 取組の推進役を担えるリーダーの育成
 - 児童会・生徒会活動による子どもの主体的な取組